学校番号	１００１

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編　数学Ｂ　（実教出版）						
副教材等	スパイラル数学Ｂ　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、数学的事象を論理的に解決し、表現する活動を行います。また、個人だけではなく周囲と協力して課題を解決する活動も行ないます。
・「課題を理解する → 結果を予想する → 解決の方向を構想する → 解決する → 解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連のプロセスで、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。
・粘り強く取り組むことが大切なので、家庭学習を含めた継続した学習が必要です。

２　学習の到達目標

（1）数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社 会生活との関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
（2）離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。
（3）数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学的対象に関する基本的な概念，法則・定理，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身に着けている。	数学的な見方や考え方を生かし自ら工夫して問題を解決したり,判断することができる。	多面的にものを見たり，理論性のあるいろいろな考えに触れたり，試行錯誤しながら考え，主体的に数学的な見方や考え方のよさを学ぼうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	数列	1節　数列とその和 1 数列 2 等差数列 3 等差数列の和 4 等比数列 5 等比数列の和 2節　いろいろな数列 1 数列の和とΣ記号 2 階差数列 3 数列の和と一般項 3節　漸化式と数学的帰納法 1 漸化式 2 数学的帰納法	a: いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解する。簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりする。 b: 事象から離散的な変化を見いだし，それらの変化の規則性を数学的に表現し考察する。 c: 事象の再帰的な関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，数列の考えを問題解決に活用しようとする。	定期考査 小テスト 問題集	定期考査 問題集 ワークシート	問題集 観察
後期	統計的な推測	1節　確率分布 1 確率変数と確率分布 2 確率変数の期待値と分散 3 確率変数の和と積 2節　二項分布と正規分布 1 二項分布 2 正規分布 3節　統計的な推測 1 母集団と標本 2 標本平均の分布 3 統計的な推測	a: 確率変数と確率分布について理解する。正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解する。 b: 確率分布や標本分布の特徴を，確率変数の平均，分散，標準偏差などを用いて考察する。 c: 目的に応じて標本調査を設計し，母集団の特徴や傾向を推測し判断するとともに，標本調査の方法や結果を批判的に考察する。	定期考査 小テスト 問題集	定期考査 問題集 ワークシート	問題集 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度